

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



月刊アフリカニュース

2014年 9月 1日

No. 19

目次

ページ

特別ニュース：アフリカのエボラの流行	1
アンゴラ月報	3
セネガル月報	4
ボツワナ月報	5
マラウイ月報	7
モロッコ月報	7

特別ニュース：西アフリカのエボラの流行；

西アフリカのエボラの流行は拡大の傾向に歯止めがかからない模様です。その深刻な経済的、社会的影響は当事国のみならず周辺国にまで及んでいます。最近のニュースをいくつか集めてみました。

1 経済的な影響について：

“Ebola crisis: The economic impact”, BBC,

シエラレオネの農業大臣によると、同国の経済は30%エボラの影響によって縮小したと言及しています。同国の13郡の内12郡でエボラが流行し、国境の閉鎖、軍や警察による村の隔離などの措置により農耕も農産物の輸出入も出来なくなっているとの事です。ギニアとリベリアの経済はシエラレオネほどの混乱はないと見込まれていますが、世銀によればギニアの経済成長率は3.5%に減少の見込みとの事です。南アのコンサルタント会社、Africa@Workによれば、最近のアフリカ大陸の経済発展はエボラ危機によって失われるかも知れないと悲観的です。ナイジェリアにもエボラが発生しましたが、同国だけがエボラを抑えることが出来る医療設備とインフラを備えていると言っています。

<http://www.bbc.com/news/business-28865434>

西アフリカ3国はエボラ対策への費用の一部を国債の発行によって賄おうとしていますが、これも大きな問題であると報じられています。“Africa nations sell debt for Ebola fight”

<http://www.bdlive.co.za/africa/africanbusiness/2014/08/20/africa-nations-sell-debt-for-ebola-fight>

2 西アフリカ3ヶ国の国境閉鎖と旅行制限による隔離 ; 8月22日

“West Africa in quarantine: Ebola, closed borders and travel bans” ガーディアン
エボラの拡散を防ぐために国際航空会社と地域航空会社は3ヶ国へのフライトを禁止し、
国境も一部閉鎖されました。3ヶ国はますます孤立化し、経済的にも困難な立場に追いこま
れています。

<http://www.theguardian.com/global-development/ng-interactive/2014/aug/22/ebola-west-africa-closed-borders-travel-bans>

3 米国疾病予防管理センター (CDC) 所長の報告 ;

“CDC Director On Ebola: 'We Are Definitely Not At The Peak'”, NPR,

リベリアの現状を視察した CDC の所長によれば、「エボラ による死亡と罹患数は報告さ
れている数をはるかに超えている。意図的に隠そうとしているのではなく、患者数が多
すぎて現場が対応できていないためである。患者数は異常な早さで増加し続けており、こ
れは非常に危険な状況である。」「現在がピークではなく、最悪な事態はこれからである。ど
れ程の人が感染し、世界へのリスクはどれ程になるのかが問題である。」「現場ではエボラ
に対応するために、他の疾病への対応がおろそかになっており、病院はわずか 10%の占有
率である。」マラリア、他の伝染病患者が必要な治療を受けていないとも言われています。

<http://www.npr.org/blogs/goatsandsoda/2014/08/26/343436300/cdc-director-on-ebola-we-are-definitely-not-at-the-peak>

4 エボラについてのQ&A ;

“Ebola: Your most pressing questions answered”, CNN

国境なき医師団 (MSF) 現状は働いている MSF がエボラについての想定問答を用意してくれ
ました。エボラとは？ その症状は？ 治療法は？ 試験的治療薬の効果は？ 何故患者
全員が試薬を受けられないのか？ ワクチンは？ エボラのウイルスはどの様に広がるの
か？ ウイルスは宿主以外でも生存できるのか？ 風邪や流感の様に空気伝染するのか？
飛行機で搭乗者に患者がいれば、他の患者に伝染するのか？ 飛行機旅行でエボラは拡散
するのか？等々の質問に詳しく答えています。

http://edition.cnn.com/2014/08/25/world/ebola-q-and-a/index.html?iid=article_sidebar

5 医療従事者の死亡が顕著である ;

“WHO: Ebola taking 'heavy toll' on health staff”, BBC,

WHOによると、西アフリカ3国での8月26日の患者数は2,615人であるが、240人以上の
医療従事者が罹患している。主な原因は医療従事者の絶対数が足りない上に、手袋やマス

クなど保護具が絶対的に不足しているからであると報告されています。また、マラリヤや疫痢などの疾患はエボラ同様に熱病であり、初期段階で区別がつかず、保護具の不足が感染を助長しているとのこと。

<http://www.bbc.com/news/health-28937197>

6 ナイジェリアにもエボラ患者、8月27日；

“Nigeria: Health Minister - Nigeria Now Has One Active Ebola Case”

ナイジェリアの保健大臣によると、「27日現在ナイジェリアには一人のエボラ患者がいる。7人が感染したがラゴスの病院で隔離治療を受け、全て退院した。二人は男性の医者と女性の看護師である」。「今日はエボラウイルスが米国籍のリベリア人により、ナイジェリアに持ち込まれて以来37日が経ち、13の症例が報告されたがすべてラゴスに限定されている。」
「一人を除いてすべて退院している。ナイジェリアはエボラを克服したとは言えないが、全ての患者は一人の患者から感染したことが判明している。」

http://allafrica.com/stories/201408270791.html?aa_source=mf-hdlns

7 コンゴ民主共和国にもエボラ患者、8月25日；

“Ebola - DR Congo Confirms Two Cases”

保健大臣によれば、「8人の患者の内二人がエボラ患者であることが判明した。」しかし、政府とWHOによれば、これは西アフリカ3国からの感染ではなく、別の系統のエボラウイルスであるとの事です。WHOによると、北部赤道州において70人以上の出血性腸炎の患者が死亡したが、エボラの流行によるものではないとのこと。

<http://allafrica.com/stories/201408260226.html>

<http://allafrica.com/stories/201408261224.html>

アンゴラ月報（2014年7月）

【内政】

●1-14日、IMF代表団がアンゴラ入りし、国内経済に関する報告会を実施。IMFによれば、同国マクロ経済は非常に良好な状態にある。2014年の成長率の予想は3.6%。2015年には5.9%。

●10日、閣僚経済委員会が開催され、マクロ経済運営計画の調整案及び2013年及び2014年上半期の国家開発計画総評が行われた。また、BNAが5億2000万米ドルの売りオペを行ったことが、報告された。

【外政】

●20日、レンツィ伊首相、アンゴラを訪問。多くの伊人企業家が同行した。

●23日、東チモールで開催された第10回CPLP首脳会議にヴィセンテ副大統領が出席。赤道ギニアのCPLP加盟承認及びギニアビサウの資格停止解除が決定された。また、日本・ブルジョア・トルコ・ナミビアのオブザーバー参加が認められた。

●28日、アフリカ開発銀行、対アンゴラ10億ドルの融資を決定。

【経済】

●エスピリト・サント・アンゴラ銀行（BESA）、57億ドルの不良債権が発覚。

●主要経済指標

(1) 物価

インフレ率6.89%過去最低記録を更新。

(2) 金利

インフレ抑制が進んでいることから政策金利のBNA基礎利率（Taxa BNA）を年率8.75%に引き下げた。銀行間取引利率LUIBORのオーバーナイトは2.94%（前月比0.02%p）に引き下げ。

(3) 為替市場

7月末、為替相場は、売値USD1=97.204AKZで推移（対前月比0.619クワンザ高）。

●石油・鉱物資源関連情報

(1) FPSOがポルト・アンボインに入港

(2) 伊ENI社との協力

(3) ダイヤモンド売上高20%増

●金融・銀行

(1) BESA不良債権問題

(2) 証券取引所開設の見込み

●貿易・投資

(1) 対中貿易総額8%増

(2) ブラジル、対アンゴラ輸出増進に意欲

(3) 対仏輸入額、約38%減

(4) 民間投資契約21件

7月に契約された民間投資案件は、アンゴラ、ポルトガル、独、中、イスラエル、エリトリア、香港、ヴァージン諸島、モーリシャス等の企業による計21件の事業で、総額5320万ドルとなった。分野は、製造業、商業、サービス業、農業。アブランテスANIP長官は、比較的少額ではあるものの製造業への投資増加が見られたと評価した。

(5) 第31回FILDAの開催。

●公的部門・インフラ

(1) カンバンベ・ダム、2015年末に完成。

(2) 復興事業に20億ドル。

http://www.angola.emb-japan.go.jp/document/report/201407angola_report.pdf

セネガル月報（2014年7月）

【内政】

●4日、サル大統領はトゥーレ首相の解任を発表した。

●6日、サル大統領はジョヌ新首相の任命を発表した。

- 6 日、サル大統領は新内閣を発表した。
- 11 日、ジョヌ首相はトゥーバを訪問し、ムリッド教団総カフと会談を行った。
- 31 日、前政権における不正資金取得の疑いで収監されているカリム・ウッド元大臣の公判が開始された。
- 地方選挙
- 首相交代及び新内閣発足
- 前政権の不正追及
- カザマンス紛争
- 水問題
- その他

【外政】

- 10 日、サル大統領はアクラ（ガーナ）で開催された第 45 回 ECOWAS 首脳会合に出席した。
- 19 日、林毅夫政府特別アドバイザー（元世銀チーフエコノミスト）以下、投資家・ビジネス関係者からなる中国代表団がセネガルを訪問し、ジャムニャジョ都市圏、ブレーズ・ジャーニュ新空港、ダカール自治港を訪問したほか、サル大統領、ジョヌ首相及びタル・セネガル新興計画（PSE）担当相と会談を行った。
- サル大統領と各国要人の会談
- サル大統領らのパレスチナ関連発言
- バルデ元ガンビア・スポーツ相の死去
- カバ法相の国際刑事裁判所（ICC）関連発言
- 第 45 回 ECOWAS 首脳会合
- 国連マリ多元統合安定化ミッション（MINUSMA）第二次隊の派遣

【経済】

- 財政
- ビジネス環境
- 金融機関における手数料等の廃止
- 中国代表団の訪問
- セネガル・エアラインズ社関連
- 経済協力

<http://www.sn.emb-japan.go.jp/pdf/jp/sn/geppou1407.pdf>

ボツワナ月報（2014 年 7 月）

【内政】

- 1 副大統領は 10 月の総選挙後は積極的な政治活動からは退く意向であるが、引き続き国民の奉仕者として 国政に関わって行く。
- 2 ボツワナ、ガバナンス指数第 2 位、イブラヒム・アフリカ・ガバナンス指数（2013 年）による。

- 3 セレツェ大臣、化学兵器禁止法案提出へ
- 4 コシ長官、疑わしい送金記録が明るみに
- 5 ドウクイ難民キャンプで難民の一部が同キャンプから逃亡している。食糧不足によるとみられている。
- 6 ラニャネ住民、行政サービス再開求める。
- 7 バサルワ族、マクガバ地域でも立ち退き対象か。
- 8 ボツワナ政府閣僚、国民からの電話に日を決めて直接対応することに決定。
- 9 ボツワナ独立選挙委員会（IEC）、10月の総選挙に向けて各政党に対し注意喚起
- 10 モツワレディ氏自動車事故疑惑残。

【外交】

- 1 スケレマニ外相、仏との関係は有益
- 2 小林駐ボツワナ日本国大使、離任の挨拶、「日本政府は対ボツワナODAを引き続き積極的に実施しており、日系企業のボツワナに対する関心も高まりつつあると述べた」。
- 3 ボツワナ・米国、外交関係の緊張高まる

【経済】

- 1 経済指標
 - (1) インフレ率
 - (2) 2014年第1四半期経済成長率
 - (3) 貿易収支
- 2 ダイヤモンドセクター
 - (1) デビアス社、新規開発ライセンスを申請
 - (2) 巨大ダイヤモンド、オークションで販売、16個の巨大ダイヤモンドは、総計1,445カラットにも及び、そのうち4つのダイヤモンドは、それぞれ4百万米ドルの高値がつく結果となった。
- 3 鉱業セクター
- 4 トランス・カラハリ鉄道建設計画
- 5 AfDB、カズングラ橋建設地へ視察
- 6 海底ケーブル敷設への投資
- 7 経済特区の設置計画
- 8 保険分野への投資
- 9 ブラジル・アフリカ・フォーラムへの派遣
- 10 ボツワナ見本市の開催
- 11 IMF第4条協議結果発表、2014年のボツワナの経済成長率は4.4%となる見込み。
- 12 アフリカ経済見通し2014の発表
- 13 EU・SADC、EPA 仮調印
- 14 対ボツワナ・米国支援、コミュニティの自助努力を支援。
- 15 対ボツワナ・UNDP 支援、代替エネルギー基金の設立。

http://www.botswana.emb-japan.go.jp/downloads/report/2014_07.pdf

マラウイ月報 (2014年 7月)

主な出来事

【内政】

- 独立 50 周年記念式典を開催。
- リロングウェ、ブランタイヤ、ムズズで市長選を実施。

【外政】

- ソールベルグ・ノルウェー首相がマラウイを公式訪問。

【経済】

- JTI、マラウイでのタバコ生産工場投資計画を中止。
- マラウイ・モザンビーク国際送電線網の進捗。
- ゴンドウェ財務・経済計画開発大臣が 2014 年度予算案に言及。

http://www.mw.emb-japan.go.jp/JapaneseSite/20140826_malawi_geppo.pdf

モロッコ月報 (2014年 7月)

<内政・政局>

1 ベンキラン首相による中間総括

(1) 8 日、ベンキラン首相は、衆参両院合同会議において、現政権のこれまでの総括を行い、現政権の取り組みは、困難な国際的・地域的・国内的情勢に鑑みると「前向きで」「尊敬に値し」「安心させる」ものであると評価した。

(2) また首相は、2014 年は政府にとってあらゆる面でターニングポイントとなるだろうと述べ、優先的な事項を決定しその実現のためにリソースを投入しなければならないとした上で、政治、経済、社会文化、財政の 4 項目について、それぞれ重点事項を説明した。

2 テロに対する警戒度の引き上げ

(1) 10 日に行われた閣議において、ハッサド内務大臣は、情報当局による情報がモロッコを標的にした深刻なテロの脅威、特にシリアやイラクで活動している団体に所属するモロッコ人の増大に関する脅威を示していることを明らかにした。

(2) 内務大臣は、これら新たなテロの脅威に対抗し市民とその財産の安全を守るための複数の措置をとることを明かし、テロ対策当局及びその他の関係機関における警戒レベルの引き上げを行ったと述べた。こうした観点から内務大臣は、地域圏長官 (Wali: 地域圏を担当) 及び知事 (Gouverneur: 県・府を担当) らに対し、テロとの戦いにおける現行の措置を強化するための断固とした措置をとるよう求め、警戒レベルを直ちに最高まで引き上げるよう求めた。同時に、内務大臣は、地域圏長官及び知事に対し、検問を強化し、治安要員を増加し、本件に関する情報交換の会合を開催するよう求めた。

3 国会の閉会

23 日、国会春会期が閉会した。

4 ラマダンの終了

27日、当国永代財産イスラム宗教省は28日にラマダンを終了する旨、正式発表した。

5 即位記念日に際する国王演説

(1) 30日、ラバトの王宮にて、モハメッド6世国王は即位記念日（第15回）の国民への演説を行った。

(2) 社会、宗教、外交、及び西サハラ問題に関するモロッコの優先課題について言及した。

<外交・国際関係>

6 メズアール外務・協力大臣のエジプト訪問

(1) 5日、メズアール外務・協力大臣はエジプトを訪問し、エル・シーシ大統領を表敬。モハメッド6世国王からのメッセージを伝達した。

(2) また同日、メズアール大臣はシュクリ外務大臣と会談。地域における共通の関心事項について意見交換を行った他、両国の元首により開催されるハイレベル合同委員会についても言及された模様。

7 メズアール外務・協力大臣の露訪問

(1) 3日、メズアール外務・協力大臣は、モスクワにて、ラブロフ露外務大臣に対し、モハメッド6世国王発プーチン大統領宛のメッセージを届けた。

(2) 会談においては、両国間の戦略的パートナーシップの推進が重視された他、9月のモロッコ・露合同委員会の開催及び二国間関係の新たなアプローチの枠組みの中で発展させるべきセクターに取り組む複数の委員会の立ち上げに合意した。

8 フェリペ・スペイン国王のモロッコ訪問

(1) 14-15日、フェリペ・スペイン国王王妃両陛下がモロッコを訪問。

(2) スペイン国王王妃両陛下による今次モロッコ訪問は、6月19日の即位後、欧州以外の地域では初めての訪問となった。

<http://www.ma.emb-japan.go.jp/pdf/seijigeppo/seijigeppo201407.pdf>